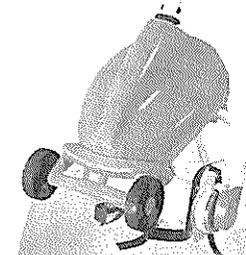




取扱説明書

セフティ-3 バッテリーミニ管理機

SCB-300



発売元 **藤原産業株式会社**
兵庫県三木市福井2115-1 TEL 0794-86-8203

このたびは、お買い上げ
まことにありがとうございます。

 当製品を安全に、また正しくお使いいただくため
に必ず本取扱説明書をお読みください。誤った
使いかたをすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後も必ず製品の近くに保存してください。

はじめに

お使いになる前に、取扱説明書を必ずお読みください

このたびは、セフティー3 バッテリーミニ管理機をお買い上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は、本機の取り扱い方法と、使用上の注意事項について記載しています。
本製品をご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解して正しくお使いください。
また、お読みになった後も、この取扱説明書を製品に近接して、いつもお手元に置いてください。

お願い

- この取扱説明書の内容が理解できるまで、本製品をご使用にならないでください。
- 本製品を貸したり、譲渡するときは、この「取扱説明書」を本製品に添付してお渡しくください。
- この取扱説明書および安全銘板を、紛失または損傷された場合は、速やかに販売店にご注文ください。
- この取扱説明書には、安全に作業していただくために「安全な作業をするために必ずお守りください」を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- 梱包用の段ボールは、商品を保管したり、運搬したりするときにご利用できます。なるべく捨てずに、保管することをおすすめします。

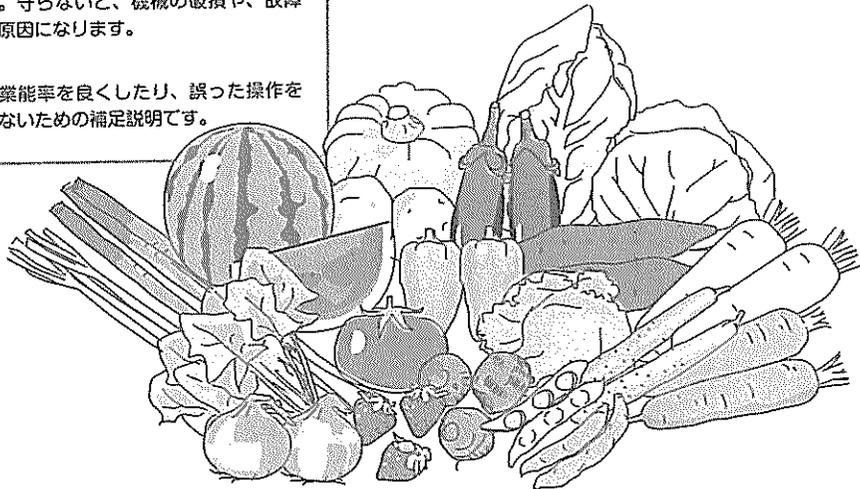
おことわり

- 本製品は改良のため、使用部品などを変更することがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容は、作成にあたり万全を期しておりますが、万一の誤りや記載もれなどが発見されてもただちに修正できないことがあります。

本文中のマークについて

重要 誤りやすい操作に対する注意を示します。守らないと、機械の破損や、故障の原因になります。

参考 作業効率を良くしたり、誤った操作をしないための補足説明です。



目次

	はじめに・・・・・・・・・・ 1 安全な作業をするために必ずお守りください・・ 3 安全銘板の貼り付け位置・・・・・・・・・・ 8 各部のなまえとはたらき・・・・・・・・・・ 9 充電のしかた・・・・・・・・・・ 10 電池パックと充電器について・・・・・・ 11 本体の準備・・・・・・・・・・ 13 作業前の点検・・・・・・・・・・ 14	ご使用の前に
	耕うん作業のしかた・・・・・・・・・・ 15 上手な耕うんのしかた・・・・・・・・・・ 17 移動・運搬のしかた・・・・・・・・・・ 20 お手入れと保管のしかた・・・・・・ 22	使いかた
	本体が突然動かなくなったとき (ブレーカ作動時について)・・・・・・ 24 耕うん爪が摩耗したら・・・・・・・・・・ 25 故障かな?と思ったら・・・・・・・・・・ 27	こんなときは
	オプション / 主要諸元・・・・・・・・・・ 29 保証とアフターサービス・・・・・・・・・・ 30	お知らせ



安全な作業をするために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全な作業をするために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様への危険や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は次のように区分しています。いずれも、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■作業する人について

⚠ 警告

●体調が悪い人や、操作が未熟な人には作業させない

機械の運転操作には、慣れが必要です。特にスイッチレバー「切」は素早くできるように練習し、十分に慣れてから作業してください。ただし、以下の人には操作させないでください。

- ・過労・病氣・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき
- ・本書の内容が理解できない人
- ・酒を飲んでいる人
- ・視力不足のため、表示内容が読めない人。
- ・妊娠中の人 ・睡眠不足の人 ・16才未満の人
- ・ハンドルを操縦する体力に自信のない人
- ・運転が未熟な人
- ・ベースメーカーをご使用の方はベースメーカーのメーカーもしくは医師にご相談ください。



説明記号の見方

⚠ 危険

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告

その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意

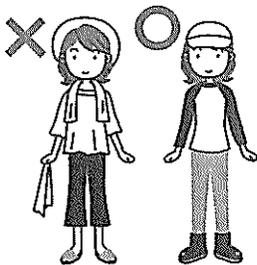
その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

●30分使用で休憩をとる

守らないと体の疲労により、ケガをするおそれがあります。

●作業員および補助者は、作業に適した服装をする

安全靴・作業帽・ヘルメット・つなぎなどの作業に適した服装をしてください。はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。事故の原因になります。



●機械を他人に貸すときは、いっしょに取扱説明書も渡す

取扱説明書、および機械に貼り付けられた安全銘板の内容が理解できない人には、絶対に運転させないでください。事前に取扱方法や安全な使い方をよく説明し、必ず「取扱説明書」を読ませてください。守らないと説明不足により、死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。

■使用する機械について

⚠ 危険

●本体および電池パック、充電器を分解したり、修理・改造は行わない
発火したり、異常動作してケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

●耕うん作業以外には使用しない
事故やケガ、故障のおそれがあります。

●耕うん作業時以外にロータを回転させない
●耕うん爪を上向きにするなどして、ロータを回転させない
思わぬことでケガをするおそれがあります。

■作業前の点検

⚠ 警告

●異臭や変形など、今までと異なることに気がついたときは使用しない
継続して使用すると、発熱、破裂、発火のおそれがあります。異常があるときは使用せずに、販売店にご相談ください。

●本体を誤って落としたり、ぶつけたときは破損や亀裂、変形がないことを点検する
破損や亀裂、変形があるとケガのおそれがあります。

⚠ 注意

●定期的に点検・整備を受ける
定期的に点検整備を行い、各部の保守をしてください。守らないと整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。

⚠ 注意

●耕うんする場所に、電線、水道管やガス管などの埋設物がないか十分に確認してください。埋設物があると感電や漏電、ガス漏れのおそれがあり、事故の原因になります。

■作業するとき

⚠警告

- 水につけたり、水をかけたりしない
- 雨ざらしにしない
- 雨中で使用しない
- 湿った場所や、ぬれた場所で使用しない
- ぬれた手で使用しない
ショート、感電のおそれがあります。

- 万一、雨などで機体を濡らしてしまった場合は、乾いた布で拭き取る
使用前に、本体と電池パックが乾いていることを必ず確認してください。

- 絶対に作動中の耕うん爪に手や足など身体を触れない

- 傾斜地や足場の悪い場所での作業は避ける
ケガをするおそれがあります。

- 夜間や見通しの悪い場所では作業しない
事故やケガをまねくおそれがあります。

- ロータが回転しているときは、耕うん爪にかみ込んだ草や異物を取り除かない
ケガのおそれがあります。必ず電源スイッチを「OFF」にし、電池パックを抜いてから行ってください。

- 可燃性の液体やガスのあるところで使用しない
爆発や火災のおそれがあります。

⚠注意

- 機械についたワラや草は取り除く
故障や火災事故の原因となります。

- 耕うん爪にカケ・ワレなど異常がある場合は、すぐに新しい耕うん爪と交換する
交換しないと本来の性能が発揮できないだけでなく、ケガのおそれがあります。

■作業後の手入れ・保管について

⚠警告

- 本体を火中に投入しない
電池パックが破裂したり、有害物質の出るおそれがあります。

- 子供が触れられないところに保管する
事故やケガのおそれがあります。

- 使用しない場合は、水のかからない乾燥した場所に保管する

- 水洗いはしない
ショート・感電のおそれがあります。

⚠注意

- スイッチ「OFF」を確かめてから電池パックの抜き差しをする
感電やケガのおそれがあります。

■電池パックと充電器について

⚠危険

- 電池パックは分解や改造したり、直接短絡させたりしない
発火により死亡または重傷を負うおそれがあります。

- 電池パックは火中に投入しない
爆発により死亡または重傷を負うおそれがあります。

⚠警告

- 必ず指定の電池パックを使用
・電池パックを交換するときは、必ず取扱説明書で指定された電池パックを使用してください。
守らないと火災の原因となることがあります。
・電池パックの充電は、室内などの雨水がかからない場所で行ってください。さもないと火災事故の原因となります。

- 電池パックの充電は、室内などの雨のかからない場所で行う
火災事故の原因となります。

- 充電の際、換気には十分注意する
電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックを充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。

- 充電器・電池パックは、乳幼児やペットがいたずらするところには設置しない
予想外の行動により、危害を受けたり火災になるおそれがあります。

- 充電器の電源プラグをぬれた手で取り扱ったり、充電器の接点部に触れたりしない
感電するおそれがあり、大変危険です。

- 他の充電器で電池パックを充電しない
- 充電は指定の充電器で行う
指定の充電器以外で電池パックを充電すると、電池パックの発熱・破裂・発火の原因となります。付属の充電器以外は、絶対に使用しないでください。

- 充電器は他の電気製品などに使用しない
- 指定の電池パック以外は充電しない
充電器は、本機の電池パック充電用に開発された専用部品です。たとえ接点の形状が一致しても、指定の電池パック以外には絶対に使用しないでください。火災や破損の原因となります。

- 充電器の電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電、ショートのおそれがあります。また、発煙の原因となることがあります。

- たこ足配線で充電しない
火災・過熱の原因となります。

- 雷が発生したときは、充電器にさわらない
- ふる場など湿気が多い場所では使用しない
感電の原因となります。

- 充電中の充電器に、皮膚の同じ場所を長時間触れない
充電中は熱くなります。手で触れたり、布で覆わないでください。
充電器は高温になる場合があります。充電中の充電器に長時間皮膚の同じ場所が触れていると、低温やけどのおそれがあります。



安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために、安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。

警告

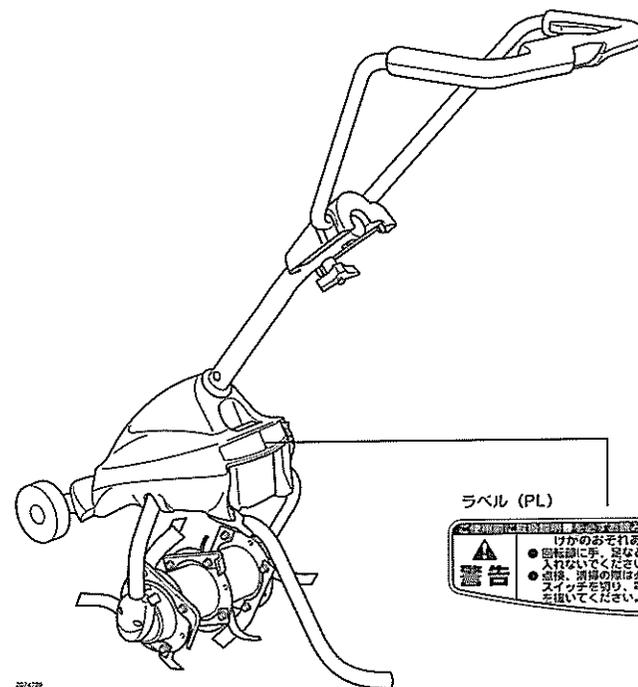
- 充電器の電源コードの取り扱い、以下のことを守る
 - ・電源コードを束ねたり、丸めたりしたまま充電しない。
 - ・電源コードを傷つけたり、加工するなどしない。
 - ・電源コードを無理に曲げる、ねじる、引っ張るなどしない。
 - ・電源コードの上に重い物をのせたり、クギなどで固定したりしない。
 - ・電源コードが損傷（断線や芯線の露出など）している状態で使用しない。
 火災・感電の原因となり、大変危険です。異常があるときは使用せずに販売店にご相談ください。
- 車中や直射日光の当たる場所など、高温の状況に放置しないでください
火災のおそれがあります。

- 充電器・電池パックを水（海水）没させたり、雨中に放置しない
内部が濡れたまま使用しますと、火災の原因となり大変危険です。また、充電中に電池パックを破損させることがあります。もし、水が入ったと思われる場合は電源プラグをコンセントから外し、必ず販売店で点検を受けてください。
- ガソリンなどの引火物の周辺や、引火雰囲気の中で充電しない
可燃性のある場所で電池パックの充電を行わないでください。火災の原因となります。
- 電源プラグ差し込み口の端子間を短絡させない

注意

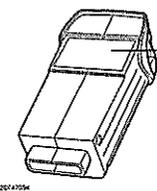
- 充電器は、平坦で安定する場所にしっかり設置する
台の上などは、落下によりケガをするおそれがあります。また、コードが引っ張られたり、落下の衝撃により故障の原因になります。
- 充電器は落としたり衝撃を与えたりしない
充電ができなくなったり破損するおそれがあります。
- 充電中の充電器にカバーをしたり上に物を置かない。また、複数の充電器を重ねたり密着させて使用しない
内部が発熱し、充電できなくなることがあります。
- 自動車からの電源、直流電源、エンジン発電機・変圧器などを使用しない
守らないと発煙・発火のおそれがあります。定格表示電源（AC100V）の家庭用コンセントで正しく充電してください。
- 充電器を踏まない
故障や破損のおそれがあります。

- ぬれた電池パックを充電しない
電池パックを発熱・発火・破裂させる原因となることがあります。
- 充電器や電池パックの接点に、ごみや水が付着しないよう注意する
充電ができなくなったり破損するおそれがあります。接点はいつもきれいにしておいてください。
- 端子に金属をつけない
使用しないときは、コネクタ部を布などで覆ってください。また、工具袋の中に同梱しないでください。感電またはショートのおそれがあります。
- 充電器を家庭用コンセント（AC100V）につないだままにしない
コンセント部分にホコリがたまることにより火災や、落雷などにより故障のおそれがあります。充電器をご使用にならないときは、安全のため、コンセントからプラグを抜いておいてください。
- 電源プラグを AC100V コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜き取る。
コードを引っ張るとコードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。



ラベル (PL)

警告	けがのおそれあり ● 密閉部に手、足などを 入れないでください。 ● 故障、修理の際は必ず電源 スイッチを切り、電池パック を抜いてください。	● ロータに過負荷がかかる と自動的に電源が切れます。 ● 電池パックを抜いて、過負荷の 原因を除き、30分以上あとに 電源スイッチをONにして 使用してください。	電源
	<p>※ ここという「バッテリー」、「バッテリーパック」とは「電池パック」のことをいいます。</p>		



ラベル (バッテリー PL)

注意	● 専用充電器にて充電してください。 0℃~40℃の温度環境にて充電してください。 ● 使用後は本体から取り外し-10℃~+35℃の温度環境にて保管してください。 ● バッテリーを落下させる等、過激な衝撃を与えないでください。 ● 分解や改造を行わないでください。 ● バッテリーに水がかからないようにしてください。
	<p>● ご使用直後の熱を持ったバッテリーパックは充電器に接続してもすぐに充電しない事があります。バッテリーパックが冷えてから再度充電器に接続してください。</p> <p>● 劣化を防ぐ為、長期保管の前には満充電の状態にしてください。</p> <p>● 新品時や長期保管後のバッテリーは1回目の充電で100%の容量にならない事があります。2~3回の充電で使用（放電）を繰り返すことによって徐々に容量が増えます。</p>

※ ここという「バッテリー」、「バッテリーパック」とは「電池パック」のことをいいます。

ご使用前の準備

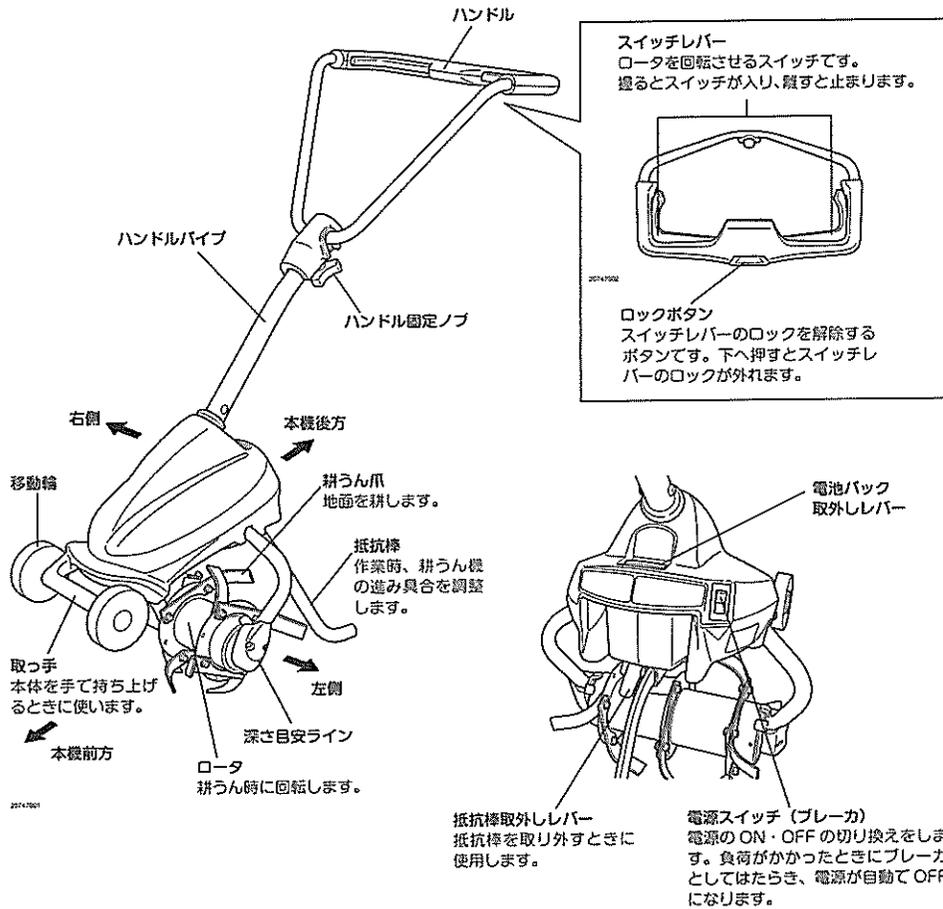
使いかた

こんなときは

お知らせ



各部のなまえとはたらき



充電のしかた

- 重要**
- お買い上げ後、初めて電池バックを充電するときは、必ず 24 時間充電してください。充電器が充電完了表示 (充電ランプが点灯) になっても、そのまま充電を続けてください。
 - 電池バックは、必ず専用充電器で充電を行ってください。
 - 2バック連続で充電した後は、充電器の使用を 30 分程度中止し、十分放熱させた後でご使用ください。
 - 充電器の充電コネクタ端子に手を入れないでください。端子に触れると感電のおそれがあります。また、端子の変形や故障の原因となる可能性があります。

耕うん作業ができるように、電池バックを充電しましょう。

1 電池バックのコネクタに充電コネクタを接続する。

端子にほこりなど、異物が付着していないか確認をしてください。異物がある場合は、掃除機や布で取り除いてください。

2 充電器に電源コードを差し込み、電源プラグを AC100V コンセントへ差し込む。

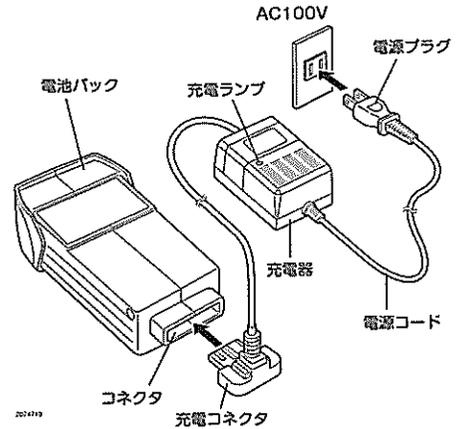
充電ランプが点滅になり、充電が開始されます。

参考 充電ランプがゆっくり 3 回点滅後に消灯するときは、電池バックが正しく接続されていません。もう一度、接続しなおしてください。

3 充電ランプが点灯すれば充電完了。コンセントから電源プラグを必ず抜く。

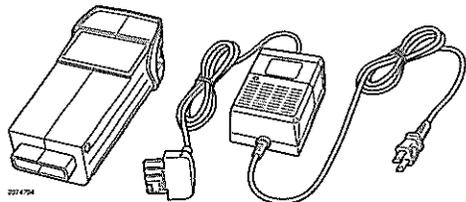
参考

- 充電残量が全くないときは、フル充電まで約 8 ~ 10 時間かかります。
- 使用直後の電池バックは、熱を持っています。電池バック内部温度が規定の充電開始温度になるまで、充電待機の状態になり、充電できない場合があります。

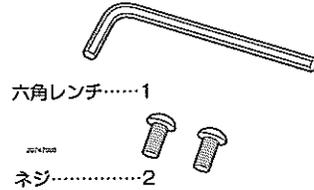


充電ランプ	状態
消灯	充電できない状態
点滅	充電中
点灯	フル充電 (充電完了)

梱包部品 (図は標準仕様の場合)



取扱説明書、上手な使い方、組み立てかた、保証書.....各 1



※ 組立時、ハンドルを取り付けるときに使用します。

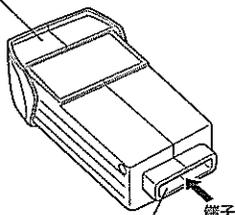


電池パックと充電器について

電池パックの保管について

- 電池残量がない状態で保管、放置しないでください。必ずフル充電で保管してください。
- 直射日光の当たらない、乾燥した涼しい場所に保管してください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 長持ちさせるためには、半年に1回は充電・放電（使用）が必要です。
- 保管温度は-20～35℃です。その範囲外の温度の場合、寿命が低下します。
- コネクタ部にホコリがたまらないように、布などでカバーをしてください。その際は、端子に触れないように注意してください。

電池パック



コネクタ

- 重要** 使用しない場合は、必ず屋内の平坦で安定のよいところに保管してください。以下のような場所には保管しないでください。
- ・本機が濡れた状態になる所。
 - ・湿気の多い所。
 - ・お子様の手の届く場所や、落下のおそれがある場所
 - ・温度や湿度の急変する所
 - ・直射日光が当たる所
 - ・揮発性物質の置いてある所
 - ・高温になる所
 - ・車内

充電器の保管について

- 保管温度は-10～50℃です。
- 直射日光の当たらない、乾燥した涼しい場所に保管してください。

電池パックを長期間使用しないとき

長期保管（1か月以上）されると、電池パックは100%充電をしないことがあります。その場合、2～3回の充電・放電（使用）を繰り返すと電池パックの能力が回復します。（新品の電池パックも同じです）

- 重要** ●電池パックは「空」の状態では放置すると消費が早まります。保管時も自己放電によりわずかながら放電し、容量が低下します。

長期間保管して再使用するとき

長期保管して再び使用する場合は、使用前日に必ず充電をしてから使うようにしましょう。（通常の充電よりも若干時間がかかる場合があります）

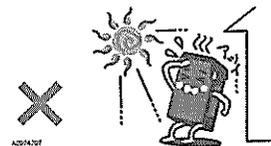
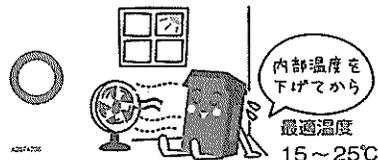
電池パックの寿命、または交換時期

- 電池パックは消耗品です。使用条件により、寿命が近づくにつれて使用時間が短くなります。フル充電で使用できる時間は、菜園の状態、負荷のかけ方・電池パックの劣化度などにより異なりますが、目安として最大約30分です。
- フル充電しても1回で使える時間が、初期の半分程度しかないときは、電池パックの寿命です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電回数は約200回が目安です。ただし、使用状況、保管状況によって寿命は変わります。
- 電池パックを長くご使用いただくために、容量を使い切ってから充電してください。
- 電池パックは使用していなくても自然に放電します。自然に放電した分は、使用される前に充電すれば回復します。
- 約10℃以下の寒い環境では、電池パックの出力容量が少なくなり、使用時間が短くなる場合があります。

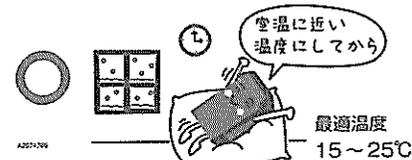
充電する場所について

- 平坦で安定がよいところ
- 直射日光の当たらないところ
- 幼児やペットなどがいたずらをしないところ
- 充電中の室温が0～40℃の範囲の場所
- 雨や水にぬれないところ
- 風通しがよく、湿気のないところ
- 異常高温による火災のおそれがないところ

夏は、日陰ですずしく、風通しのよい場所



冬は、夜間でも0℃以下にならない場所



参考 ●テレビ、ラジオなどのそばで充電すると、雑音が入ったり、テレビ画面がチラツいたりする場合があります。そのような場合は、電化製品から離して（他の部屋などで）充電をしてください。

ご使用前の準備

使いかた

こんなときは

お知らせ

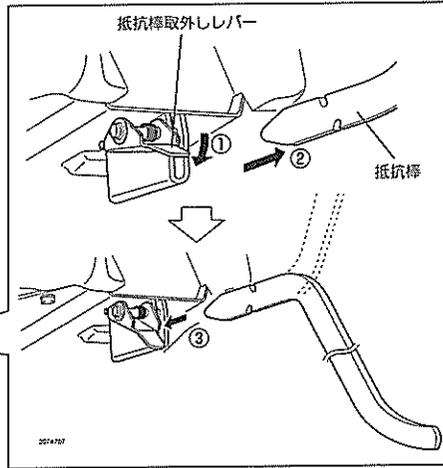


本体の準備

バッテリーミニ管理機を使える状態にセットしましょう。図は、収納状態から作業状態にする場合です。

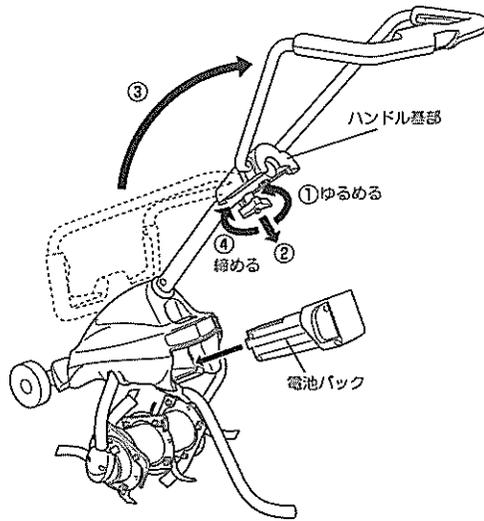
1 抵抗棒を取り付ける。

- ① 抵抗棒取外しレバーを押して、
 - ② 抵抗棒を取り外す。
 - ③ 抵抗棒の向きを反転させ、「カチッ」と音がするまで押し込む。
- 取り付け後は、外れないことを確認してください。



2 ハンドルを作業位置にする。

- ① ハンドル固定ノブをゆるめる。
- ② ハンドル固定ノブをいっぱい引く。
- ③ ハンドルを180°回転させる。
- ④ ハンドル固定ノブを、ハンドル基部のネジにねじ込んで回し、確実に固定してください。



3 電源スイッチを「OFF」にする。



4 電池パックを挿入する。

- ① 電池パック挿入部や端子部に異物がないことを確認してください。(14ページ参照)
- ② 電池パックのラベルを上面にして、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで押し込んでください。

重要 ハンドル固定ノブをゆるめたとき、ハンドルから手を離さないでください。ハンドルがフリーの状態になり、機械を破損したり、ケガをするおそれがあります。



作業前の点検

毎日の作業前に、必ず点検をしましょう。

■ 服装を点検する

安全で活動しやすい衣服で作業をしてください。

■ 耕うんする場所を点検する

障害物がないか点検してください。ひもなどは取り除き、雑草は事前に刈り取ってください。ロータや耕うん爪に、からみつのおそれがあります。

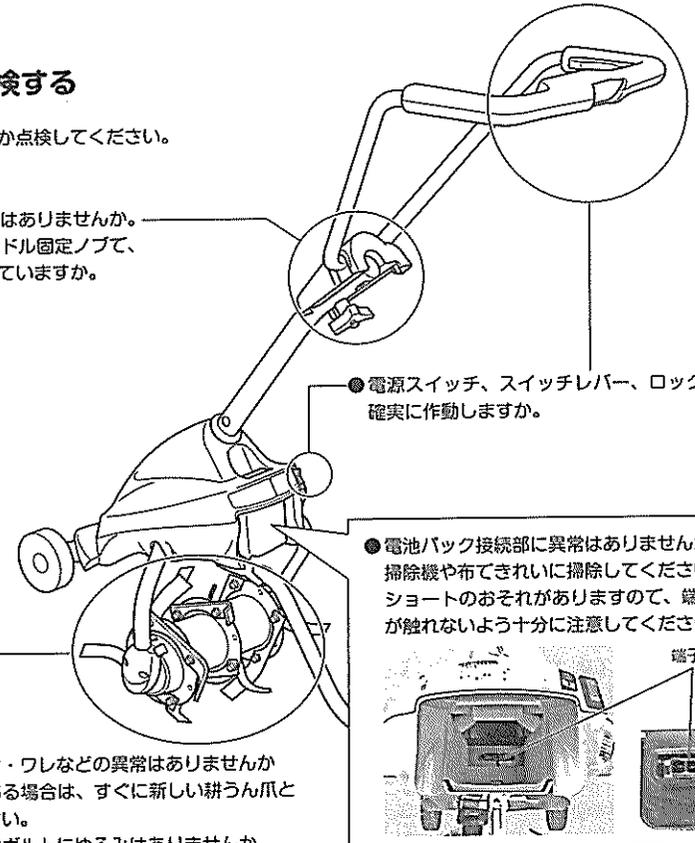
■ 機械を点検する

各部に損傷がないか点検してください。

- ハンドルにガタはありませんか。ハンドルはハンドル固定ノブで、確実に固定されていますか。
- 電源スイッチ、スイッチレバー、ロックボタンは、確実に作動しますか。
- 電池パック接続部に異常はありませんか。掃除機や布できれいに掃除してください。ショートのおそれがありますので、端子に金属が触れないよう十分に注意してください。
- 耕うん爪にカケ・ワレなどの異常はありませんか。カケやワレがある場合は、すぐに新しい耕うん爪と交換してください。
- 耕うん爪の取付ボルトにゆるみはありませんか。確実に固定してください。(26ページ参照)

⚠ 注意

- 点検・整備は、平坦で安定した場所で行う。交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で点検整備をしてください。
- 機械を点検するときは、電池パックを抜いておく。ロータを誤って動かさないために、電池パックを抜いておいてください。
- 作業場所に杭、石、ガラス瓶、空き缶などの異物があれば取り除く。機械の故障や、思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- 雨上がりなど、ぬかるんだ場所では耕うんをしない。機械に水が入り込むと、故障するおそれがあります。





耕うん作業のしかた

警告

ロックボタンを押したままの状態にするような行為（例：テープなどを貼る）はしない

ケガをするおそれがあります。



注意

●周囲の人に合図して発進する

周囲の人に合図してから始動してください。傷害事故の原因となることがあります。

●燃えているゴミの上や、その近くは走行禁止

機械に引火し、火災になるおそれがあります。

●わき見運転や手放し運転をしない

傷害事故の原因となります。

●飛び出し（ダッシュ）に注意

地面が固かったり、石をかんだりすると、回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に飛び出す（ダッシュ現象）ことがあります。いつでもスイッチレバーが切れる姿勢で作業してください。特に、川や崖、人のいる方向に飛び出すと、転落や人身事故をまねくおそれがあります。

●抵抗棒は、必ず装着して正しい向きで作業する。

人身事故をまねくおそれがあります。

●物を重しの代わりにしない

耕うん機の上に物を載せて作業をしないでください。

●始動時は、周囲を確認

始動する前に、スイッチレバーの位置と周囲の安全を確認してください。傷害事故の原因となるおそれがあります。

●共同作業者がいる場合、互いに注意する

守らないと傷害事故の原因となります。

●作業中は、人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、本機に近づけないようにしてください。傷害事故の原因となることがあります。

●機械を移動輪で移動するときは、電源スイッチを「OFF」にし、ロータを回転させない

作業時以外は、ロータを回転させないでください。

ロータを回転させて移動すると、回転する耕うん爪に巻き込まれ、重傷を負うことがあります。

●機械から離れるときは、平坦地に置き、電源スイッチをOFFにした後、電池パックを抜く

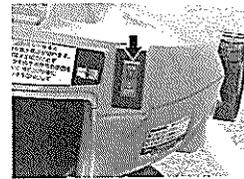
やむを得ず傾斜地に置く場合は、車止めなどをして機械が動かないようにしてください。機械が動き出すと、事故の原因となります。

機械の動かしかた

実際の耕うん作業をする前に、試し耕うんを2、3度繰り返して、機械の操作に十分に慣れてください。

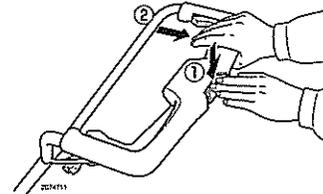


1 電源スイッチを「ON」にする。

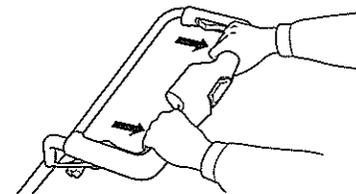


2 ロックボタン①を押しながら、もう一方の手でスイッチレバー②を握る。

ロータが回転し、耕うん作業を開始します。

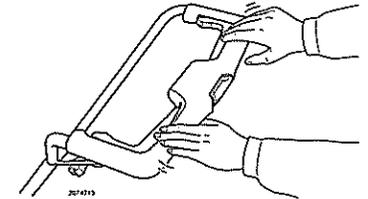


3 ロックボタンから手を離し、スイッチレバーを両手でしっかり持って前進する。

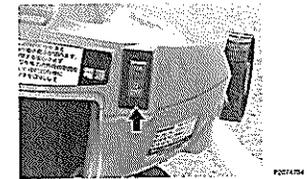


機械の止めかた（作業が終わったら）

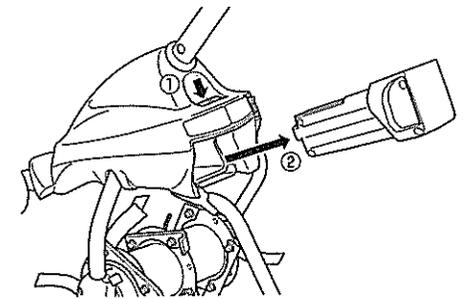
- 1 スイッチレバーから手を離す。
スイッチレバー・ロックボタンが戻り、ロータの回転が止まります。
再び動かすときは、ロックボタンを押して、再度スイッチレバーを握ってください。



2 電源スイッチを「OFF」にする。



- 3 作業を終了するときは、電池パックを取り外す。
電池パック取外しレバー①を引きながら、電池パック②を取り出してください。



重要 保管するときは、必ず本体から電池パックを取り外し、お手入れをしてください。（14・22ページ参照）

重要 連続作業を行うと、ロータが熱くなることがあります。最大30分作業を目安に、10分程度機械を休ませてください。



上手な耕うんのしかた

上手に耕うん作業をするためのポイントを紹介します。

ゆっくりと耕す

1 耕したい場所（地面）で、ハンドルを下へ押し下げながら、抵抗棒を地面に沈み込ませる。

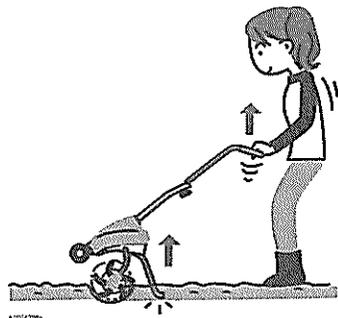
2 耕うん爪を地面に食い込ませながら、少しずつゆっくりと前方に進ませる。



深くもぐって前に進まないとき

1 ハンドルを上方向に軽く持ち上げる。

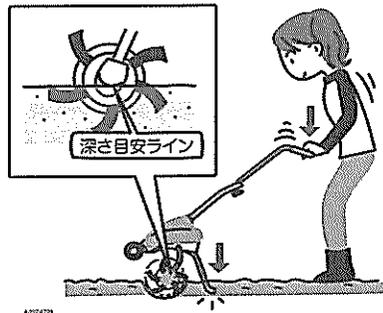
2 抵抗棒の沈みが浅くなり、機体が前に進む。



安定して同じ深さに耕す

1 ハンドルの持ち上げ、押し下げによって機体の進み具合を調整する。

2 深さ目安ラインに沿って耕します。深さ目安ラインが地面と合うように耕すと、耕うんの標準的な深さ（10cm）となります。



ターンのしかた



警告

ターンをするときは、一度スイッチレバーから手を離し、耕うん爪の回転を必ず止める守らないと回転する耕うん爪に巻き込まれ、重傷を負うことがあります。

移動輪を使ってターンする場合は、以下のようにしてください。

1 ターンしようとする場所でスイッチレバーから手を離し、機体を停止させる。

2 移動輪を接地させ、耕うん爪を浮かすようにハンドルを持ち上げる。

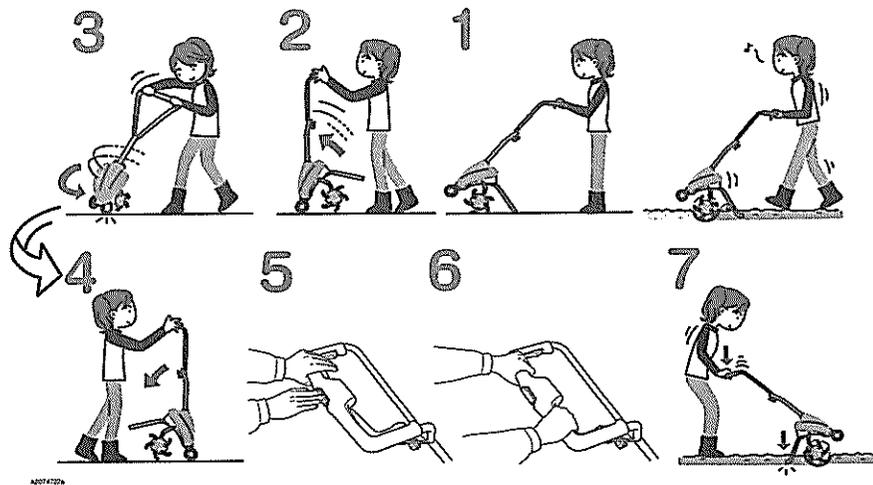
3 ターン方向へ、内側の移動輪を軸に機体を反転させる。

4 足元に気をつけながら、機体を手前へ倒す。

5 ロックボタンを押しながら、もう一方の手でスイッチレバーを握る。

6 ロックボタンから手を離し、スイッチレバーを両手でしっかりと持って前進する。

7 ハンドルを下へ押し下げ、抵抗棒を地面に沈み込ませる。



ご使用前に

使いかた

こんなときは

お知らせ

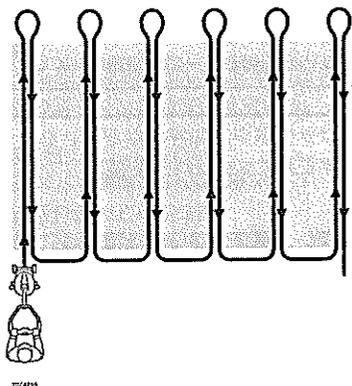


移動・運搬のしかた

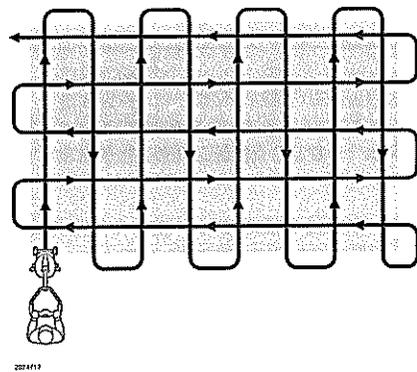
耕うんした場所を重ねて耕うんする

- 深さムラを抑えることができます。
- より深く耕せます。

■逆方向に同じ場所を耕うんする場合



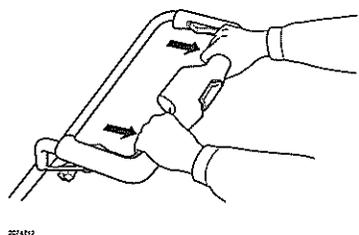
■縦横方向に耕うんする場合



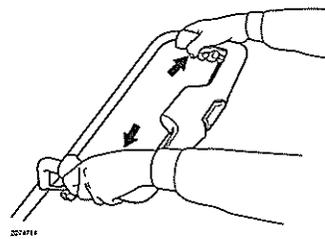
ハンドルの握り位置

作業しやすい位置を両手で持ってください。

■正面位置で持つ場合



■横位置で持つ場合



警告

- 必ず電源スイッチは「OFF」にしておく
ロータが不意に回転し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- 移動輪使用時は、ロータを回転させない
守らないと耕うん爪に巻き込まれて、ケガを負うおそれがあります。
- 指定以外のところを持って持ち上げない
取っ手とハンドルパイプ以外を持って持ち上げると、ケガをするおそれがあります。
- 移動中に、人や動物を近づけない
特に子供には十分注意し、本機に近づけないようにしてください。耕うん爪や抵抗棒などで、思わぬケガをするおそれがあります。周りには十分注意してください。
- 坂道を移動するときは
 - ・急な坂道は移動しないでください。坂道の移動は、トラックなどで運搬してください。
 - ・やむを得ず坂道を移動する場合は、転倒やスリップに気を付けてゆっくり移動してください。守らないと本機が思わぬ方向に動き、転倒や思わぬ事故をまねくおそれがあります。
- 移動時は路肩に注意
溝のある農道や両側が傾斜している農道では、路肩に十分注意してください。注意しないと転落事故を起こすことがあります。
- 凹凸やカーブ道路はゆっくり移動
坂道は凹凸、カーブの多い道路では、ゆっくり移動してください。守らないと転倒や転落の原因となるおそれがあります。

移動のしかた

■移動輪を使って移動するとき

図のようにハンドルを押して移動輪が転がると、楽に運ぶことができます。抵抗棒は耕うん作業時とは、逆向きに取り付けてください。(13ページ参照)



重要 必ず進行方向に、人や物、溝がないことを確認してください。
引いて移動すると、耕うん爪や抵抗棒が見えないので危険です。必ず押して移動してください。

■機体を持ち上げるとき

取っ手とハンドルパイプを持ってください。

重要 他の所を持つと、破損や変形、けがのおそれがあります。



ご使用の前に

使いかた

こんなときは

お知らせ



お手入れと保管のしかた

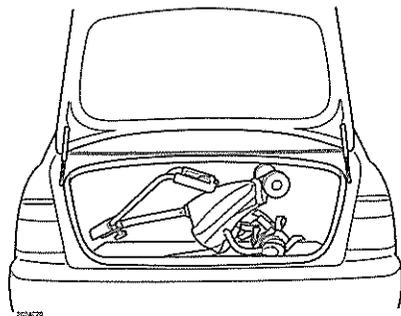
車に載せて運搬する

警告

- 積み込み・積み降ろしをするときは、平坦で交通の危険のない安全な場所を選ぶ
積み込む自動車はエンジンを切って、変速は「P」または「1速」・「R」位置に入れ、駐車ブレーキを掛けて車止めをしておいてください。守らないと自動車が進んで転落事故などをまねくおそれがあります。
- 積み・降ろし作業は、十分に気をつけて行う
守らないと転落・転倒による事故のおそれがあります。
- 機体を上手く持ち上げられない人は、車に載せない
ケガをするおそれがあります。
- トラックに積み・降ろしをするときに、アユミ板は使用しないでください
守らないと、耕うん部がアユミ板に食い込んで転落事故を引き起こすおそれがあります。
- トラックなどの荷台で運搬するときは、耕うん部が動かないように車止めの効果のあるもので動きを抑えてください。機体を立てた状態で運搬しないでください。
また、運搬中は急発進・急旋回・急ハンドルをしないでください。
守らないと、衝撃で機体を破損させたり、転落事故を起こすことがあります。

重要 ハンドル部にはロープを掛けしないでください。守らないと、破損や変形するおそれがあります。

- 1 23 ページにしたがって、機体を収納状態にする。
- 2 傷防止のため、荷台やトランクの底にダンボールなどを敷く。
- 3 取っ手とハンドルパイプを持って、機体を持ち上げる。
- 4 図のように機体を寝かせて載せる。
トラックなどの荷台でも図のように機体を寝かせて載せてください。



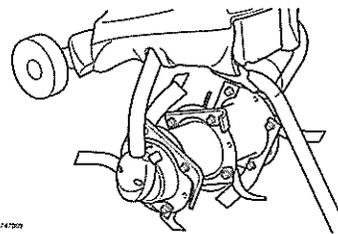
参考 本機を車に載せて運搬するときは、電池パックも忘れずに車に載せてください。電池パックは、車内の安定した場所に置いてください。

注意

- 電源を「OFF」にし、電池パックを取り外す。
誤ってロータを回転させると、ケガをするおそれがあります。
- 必ず手袋を着用する。
ケガのおそれがあります。
- 点検・整備は、高温部が十分冷めてから
ロータなどの高温部が、十分に冷めてから点検・整備をしてください。やけどをするおそれがあります。

耕うん爪のお手入れ

- 耕うん爪に付いた異物や、泥、土をブラシなどで取り除く。
- 汚れを、乾いた雑巾、または水を含ませて固く絞った雑巾などでふき取る。



- 重要**
- 本体に油が付いた場合は、すみやかにふき取ってください。
変色・割れの原因となります。
 - 水洗いは避けてください。故障の原因となることがあります。

本体のお手入れ

- 乾いた柔らかい布でかるく拭いてください。
- 汚れがひどいときは、薄めの台所用中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いてください。

重要

- 水洗いやベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。故障・変色・変形・ワレなどのおそれがあります。
- ハンドルのスイッチ・ボタン部や、電池パック挿入部へは水をかけないでください。故障の原因となります。
- 注油はしないでください。故障・変色・変形・ワレなどのおそれがあります。

保管のしかた

警告

運搬・保管時は電池パックを取り外す
本体が不意に動作してケガのおそれがあります。

本機をいつまでも調子よくお使いいただくために、次の点検を行ってから保管してください。
また、保管したあとも定期点検を忘れずに行いましょう。

■保管時の点検

- ・耕うん爪の摩耗、割れ、刃こぼれ、曲がりがないこと。
- ・充電器電源コードや電源プラグの、損傷や破損がないこと。

■保管場所について

- ・使用しない場合は、必ず屋内の平坦で、安定のよいところに保管してください。

以下のような場所には保管しないでください

- ・本機が濡れた状態になる所
- ・湿気の多い所
- ・お子様の手の届く場所や、落下のおそれがある場所
- ・温度や湿度の急変する所
- ・直射日光が当たる所
- ・揮発性物質の置いてある所
- ・高温になる所
- ・車内

■電池パックの保管と、長期保管後の使用については、11 ページを参照してください。



本体が突然動かなくなったとき (ブレーカ作動時について)

ご使用状況により、耕うん爪に負担がかかった場合は、ブレーカが作動して、いったん電源スイッチが「OFF」に戻りロータの回転が止まります。ブレーカが作動する原因は次のような状況と考えられます。

- ① 耕うん爪に草や異物がからんだり、巻き込んだ場合
 - ② 深く耕したために大きな負荷がかかった場合
- 電池パックの容量が極端に少なくなったときには、耕うん爪に草や異物がからんでも、ブレーカが作動しない場合があります。

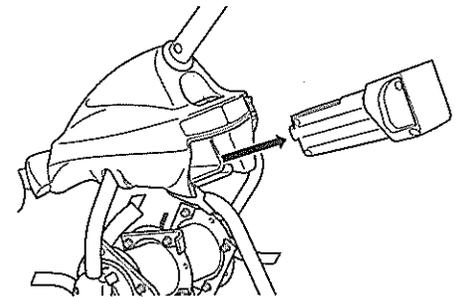
警告

- ブレーカの復帰作業時または耕うん爪に枝や異物がからんだときは、いったん、必ず電源スイッチを「OFF」にし、電池パックを本体から抜く
事故やケガをするおそれがあります。
- 耕うん爪にからんだ石や異物を取り除くときは、必ず手袋を着用する
耕うん爪の刃でケガをするおそれがあります。

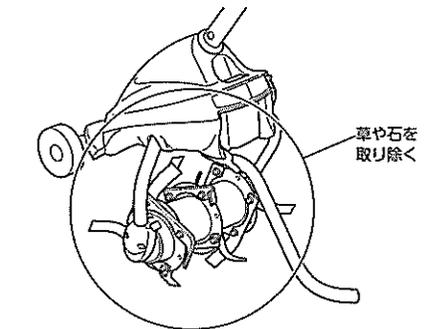
復帰のしかた

ブレーカが作動すると、スイッチレバーを握ってもロータは回転しません。再度、作業を始める場合は、以下手順に従って電源を復帰させてください。

- 1 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、電池パックを本体から取り外す。



- 2 ブレーカ作動の原因を取り除く。
 - ① 耕うん爪に草や石などの異物がからんでいる場合は、手袋を着用して取り除いてください。
 - ・ 耕うん爪にからんだ石や異物を取り除くときは、無理にこじたりしないでください。耕うん爪の変形や本体の故障の原因となります。
 - ・ 耕うん爪に、十分に気をつけてください。
 - ② 本機が土の中に深くもぐりこんでいる場合は、本機を土から取り出してください。



- 3 電池パックを本体に差し込み、電源スイッチを「ON」にして復帰させる。ブレーカが作動したときは、30秒以上の間をおいて電源スイッチを「ON」にしてください。

- 4 本体を休ませる。ブレーカがひんぱんに作動する場合は、本体が熱くなっているため、本体が冷めるまで約30分から1時間休止させてください。

機械を収納状態にする

- 1 電池パックを本体から取り外す。
電池パック取外しレバー①を引きながら、電池パック②を取り外してください。

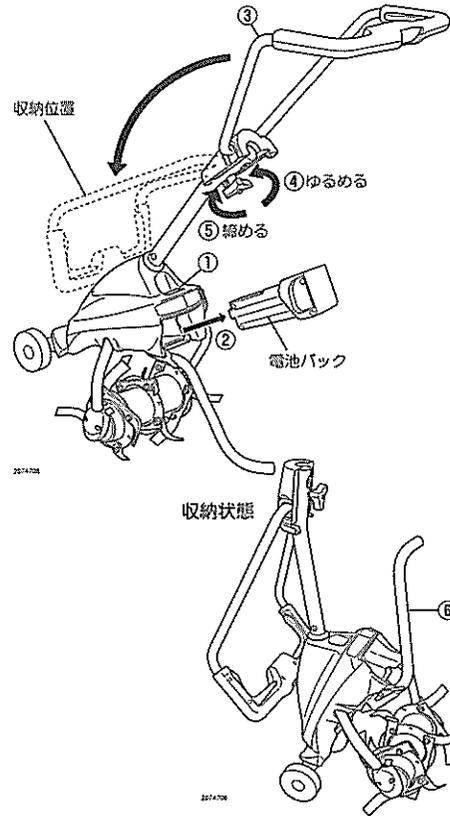
重要 使用した後は、電池パックが発熱していることがありますので注意してください。

- 2 ハンドルを折りたたむ。
ハンドル③を手で支えながら、ハンドル固定ノブ④をゆるめる。
ハンドルを収納位置まで回転させ、ハンドル固定ノブ⑤を締める。

重要 ハンドル固定ノブをゆるめるとき、ハンドルから手を離さないでください。ハンドルがフリーの状態になり、機械を破損したり、ケガをするおそれがあります。

- 3 抵抗棒⑥を収納位置にする。
(右図参照)

- 4 保管する。
電池パック挿入口は、ホコリが入らないようにカバーなどで覆ってください。また、吊り下げや高い場所(棚上など)では保管しないでください。

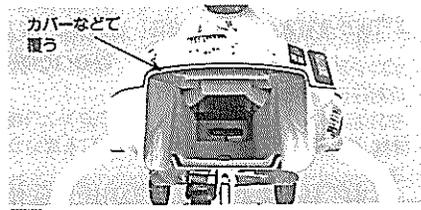


長期間保管するとき

● 電池パックを長期間使用しないとき
保管場所については11ページを参照してください

● 機械を長期間使用しないとき

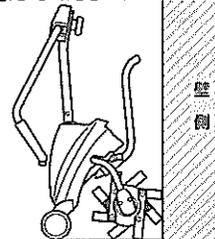
- ・ 電池パック挿入口は、ホコリが入らないようにカバーなどで覆ってください。



- ・ 室内で保管してください。(温度 -20 ~ 35°C)

注意

- 万一のケガ防止のため、図のように壁際に立てて保管するときは、必ずロータを壁側に向ける
カバーを掛けた場合、特に耕うん爪が見えないので注意してください。





耕うん爪が摩耗したら

耕うん爪の点検・交換のしかた

満足な作業をしていただくために、耕うん爪は、早目に交換してください。

■点検のしかた

- 耕うん爪の損傷・曲がり、および摩耗を点検してください。
- 取り付け部のガタがないか点検してください。

■耕うん爪の摩耗の見方

- 耕うん爪が、右図のように摩耗したら交換時期です。

■耕うん爪の交換のしかた

- 耕うん爪の交換は、ご購入いただいた販売店にご相談ください。
- 耕うん爪を新品に交換するときは、必ず耕うん爪と同時に締結部品も交換してください。

12セット (左: 6組、右: 6組)

- 耕うん爪の取付ボルトとナットを取り外し、交換してください。
- 締結部品 ツバボルト M6 × 16……12本
ツバナット M6……12本

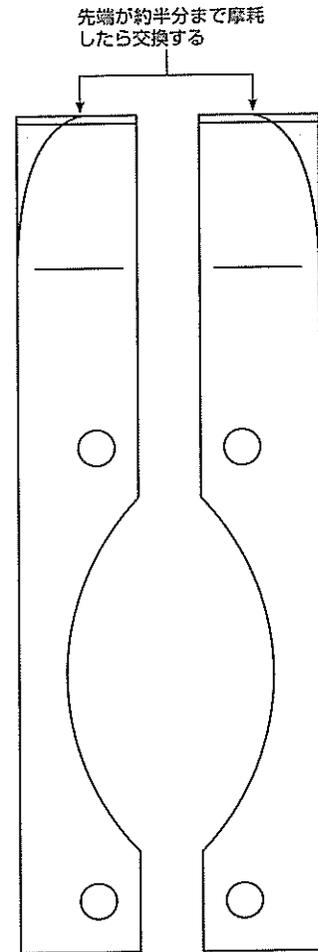
⚠ 注意

- 電源スイッチを「OFF」にし、ロータが完全に停止したことを確認した後、電池パックを取り外す
- 必ず手袋を着用する
ケガをするおそれがあります。
- ボルト・ナットに合った適正なサイズの工具を使用する

- 重要**
- ボルト・ナットの締め付け、ゆるめ方向は、
・ 時計方向に回す……締まる
・ 反時計方向に回す……ゆるむ
 - 1組のボルトとナットに、それぞれ工具（スパナなど）を掛け、締め付け・ゆるめ作業を行います。

交換時期の目安
(原寸大)

耕うん爪 L (左) 耕うん爪 R (右)



※摩耗の形状は目安です。

〈耕うん爪の組み立てかた〉

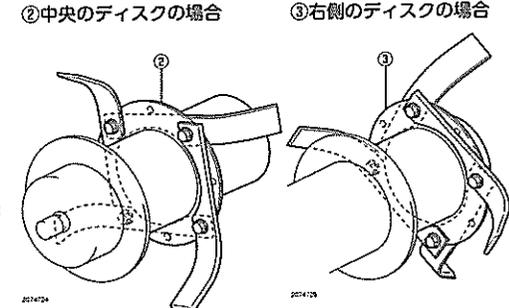
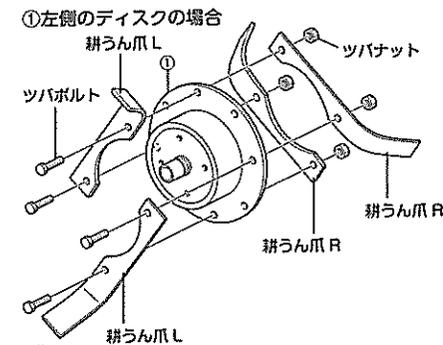
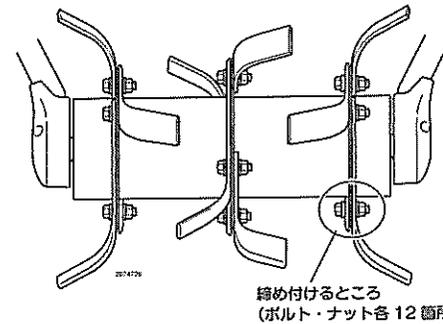
耕うん爪の交換は、本機を安定した姿勢にして行ってください。

耕うん爪は2種類ありますので、向きを間違えないよう、下図のとおり組んでください。

1本外したら新品1本を取り付けていきます。

■耕うん爪の向きについて

ディスクを挟んで、それぞれ外側に向けてください。

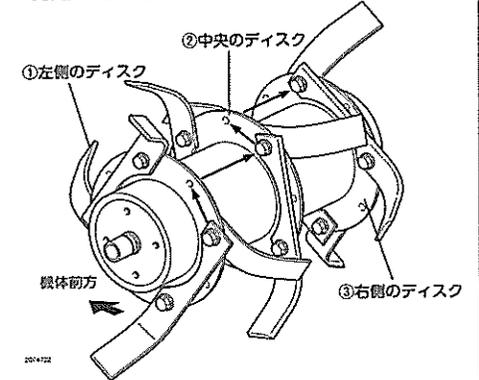


- 重要**
- 交換の際は、必ず専用爪をお使いください。(29ページ参照)
 - 耕うん爪を取り付けるときは、ボルト・ナットで確実に固定してください。
 - 右側のディスクと左側のディスクの耕うん爪は、左右対称になるように組んでください。

⚠ 注意

耕うん爪の向きを間違わないように注意する
機械の破損や、思わぬケガをすることがあります。

耕うん爪②③をディスクに取り付けるときは、下図のように①左側のディスクを基準に、取り付け位置を反時計回りに1個ずつずらして取り付けてください。



ご使用前に

使いかた

こんなとき

お知らせ



故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	処置	参考ページ	
充電時	充電ランプが点灯、点滅しない。	電源コードが接続されていない。	電源コードを接続してください。	10
		電池パックが接続されていない。	電池パックを接続してください。	10
		充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	電源プラグを抜いてゴミを取り除いてください。	10
	充電完了した電池パックを再度充電しても、充電完了にならない。	フル充電を検知するのに時間がかかる。	しばらくすると、充電ランプが点灯します。	10
	充電中、テレビ、ラジオに雑音が入る。	テレビ、ラジオの近くで充電している。	別のコンセントで、またはテレビ、ラジオから離して充電してください。	12
作業時	動かない。	電池パックが挿入されていない。	電池パックを挿入してください。	13
		電池パックが充電されていない。	充電をしてください。	10
		電池パックにゴミが付着している。	ゴミを取り除いてください。	14
		ブレーカが作動している。	ブレーカを復帰させてください。	24
		電池パックが本機に正確に接続されていない。	正しく接続してください。	13
		耕うん爪に異物がかみこんでいる。	異物を取り除いてください。	22
		スイッチレバーが正確に握れていない。	スイッチレバーを正確に握ってください。	16
	ブレーカがひんぱんに作動する。	本体が熱くなっている。	本体が冷めるまで約30分から1時間休止させてください。	24
		耕うん深さを深くしている。	耕うん深さを浅くし、2度耕うんしてください。	17・19
	充電しても使用時間が短い。	耕うん深さを深くしている。	耕うん深さを浅くし、2度耕うんしてください。	17・19
		電池パックが長時間放置されていた。	充電を行ってください。	10
		電池パックは購入したばかりである。	充電と使用を2〜3回行ってください。	11
		電池容量を使い切らずに充電を繰り返している。	電池容量を使い切ってから充電してください。	11
電池パックの寿命。		新しい電池パックをお買い求めください。	11・29	
耕うん性が落ちた。	電池パックの充電不足。	充電ランプが緑色点灯になるまで充電してください。	10	
	耕うん爪のワレ、カケ、摩耗、変形など	新しい耕うん爪に交換してください。	25	
	耕うん爪に異物がはさまった。	異物を取り除いてください。	22	
各部に振動が多い場合。	電池パックの充電量残量が少なくなった。	充電してください。	10	
	ハンドル固定ノブがゆるんでいる。	ハンドル固定ノブを確実に締め付けてください。	13	
その他		耕うん爪取付ボルトがゆるんでいる。	耕うん爪取付ボルトを締め付けてください。	26
	・20時間以上充電しても充電が完了しない。			10

左記の処置をしてもなお異常がある

ただちに使用を中止し、本体、充電器と電池パック・保証書を、セットでお買い上げの販売店へお持ちください。

ご使用の前に
使いかた
よく読むこと
お知らせ



オプション / 主要諸元

主要消耗部品

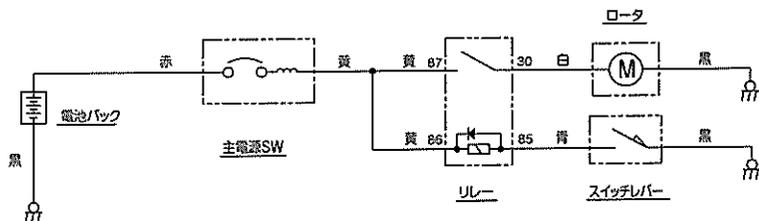
No	品名
1	耕うん爪L (左)
2	耕うん爪R (右)
3	耕うん爪取り付け用ツバボルト・ツバナット 12本セット
4	電池パック

主要諸元

品名		セフティ-3 バッテリーミニ管理機	
規格名		SCB-300	
機体寸法	全長 (mm)	880	
	全幅 (mm)	425	
	全高 (mm)	1040	
機体質量 (重量) (kg)		15.5	
走行変速段数 (段)		前進 1	
作業部	名称	フレンチ爪ロータ	
	駆動方式	ローターインナードライブ	
	耕幅 (mm)	300	
	爪本数 (本)	12	
	爪回転外径 (mm)	φ 250	
ロータ無負荷回転速度 (rpm)		72	
定格消費電力 (W)		180	
モーター	定格出力 (W)	144	
	定格回転速度 (rpm)	4900	
電池パック	種類	ニッケル水素	
	定格電圧 (V)	DC24	
	容量 (mAh)	3800	
充電器	電源電圧 (V)	AC100 (50/60Hz)	

備考
 ●安全規格適合 ●充電器：PSEマーク
 ●絶縁性能：電気用品安全法の「園芸用電気耕土機」技術基準に準ずる
 (DC電源のため、法的な義務はありません)

電気回路図



保証とアフターサービス

本製品の使用目的について

本製品は、家庭菜園の耕うん作業用機械としてご使用ください。草刈り作業や水田などのご使用はおやめください。使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。(保証適用除外事項は、保証書をご覧ください。)

保証書は大切に保管してください

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の 27 ~ 28 ページに従ってご確認ください。なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電池パックを取り外して、下記の点を明確にして、お買い上げいただいた販売店にご連絡ください

- 規格名と製造番号
- ご使用状況は？
- どのくらい使用されましたか？
(約 m または 時間、 回充電)
- お買い上げ年月日
- お名前、住所、連絡先電話番号
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えください。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの補修用性能部品を製造打ち切り後、9年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

廃棄処分をするとき

●本体
お住まいの地方自治体の処理方法の指示にしたがってください。

●電池パック
この電池パックに使用しているニッケルは、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池パックを廃棄の際は、お買い求めの販売店にご相談ください。

ご使用前に

使いかた

こんなときは

お知らせ



保証書

このたびは、セフティ-3 バッテリーミニ管理機をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

お買い上げいただきました弊社製品について下記のとおり保証いたします。なお、この保証書は日本国内で使用される場合に限り適用いたします。

記

- 保証期間
納品日から起算して、1ヵ年間とします。
- 保証の内容
本商品を構成する部品や材料などに、設計や製造上の欠陥があらわれ、弊社がその欠陥を認めた場合に限り、この保証書に示す期間と条件に従って、お買い上げ販売店にて修理を無償で実施いたします。なお、取り外した不具合部品は弊社の所有となります。
- 保証の適用除外事項
保証期間内でも、下記の場合は保証いたしません。
 (1)弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常の点検整備、禁止事項、保管方法を守らず、それが原因で生じた故障。
 (2)弊社が示す仕様の限度を越えて使用し、それが原因で生じた故障。
 (3)弊社が認めていない改造または変更を行い、それが原因で生じた故障。
 (4)弊社指定の純正部品、及び油脂類（潤滑油、燃料油）及び定められた作業機以外のものを使用し、それが原因で生じた故障。
 (5)天災地変によって被った損傷、及びそれに起因して生じた故障。
 (6)経時変化による自然退色や発錆。（塗装面、メッキ面等）
 (7)機能上影響のない単なる官能的現象。（音、振動、外觀上の軽微な傷等）
 (8)お買い上げ販売店以外で修理され、それが原因で生じた故障。
 (9)消耗部品・油脂類の自然消耗・劣化。
 (10)取り外した不具合部品を紛失された場合。
 (11)故障に起因する休業補償などの二次損失の補償。
 (12)故障の発生後、30日以内にお買い上げ販売店へお申し出がなかった場合。
- その他
 (1)保証書の提示がない場合は、有償となる場合があります。
 (2)保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

＜個人情報の取扱いに関して＞

ご購入いただいたお客様の個人情報は、弊社及び販売店が個人情報の保護についての法令を遵守し、適切な選定・管理を行います。なお、利用にあたっては弊社及び販売店にて共同利用させていただきます場合があります。

藤原産業株式会社
兵庫県三木市福井2115-1

保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用して故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼ください。

規 格 名	セフティ-3 バッテリーミニ管理機 SCB-300
製 造 番 号	
※ お 客 様	住 所 ----- 氏 名 ----- 様 電 話 ()
※ お 買 上 げ 日	年 月 日
保 証 期 間	1年(お買い上げ日より)
※ 販 売 店	取扱販売店名・住所 ----- 電 話 ()

ご購入店様へ ※印欄は必ず記入してお返しください。

発売元 藤原産業株式会社
兵庫県三木市福井2115-1 TEL.0794-86-8203

